

中施策評価書

作成日 平成30年 7月 20日

中施策事業名	地域公共交通活性化事業	部課名	行政経営部・とよあけ創生推進室
		作成者	川島 康孝

①めざすまちの姿	08 交通の利便性がよく、市外から人が移り住んだり、通勤・通学している
②大施策	交通の利便性を高め、移住を促し、通勤・通学しやすくなるようにする
③中施策	公共交通の利便性を良くする
④中施策事業の対象	豊明市在住・在学・在勤者・来訪者
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	公共交通を利用した移動がしやすいと感じている
⑥中施策事業を構成する事務事業(手段)	・地域公共交通網形成計画推進事業 ・地域公共交通会議及び地域公共交通活性化協議会の運営業務 ・ひまわりバスの運行管理 ・ひまわりバス路線再編事業 ・地域路線検討事業 ・尾三地区広域公共交通推進事業

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況								
名鉄バス・ひまわりバスの利用者数		事業実施年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
		目標値	1,495,000	1,510,000	1,525,000	1,540,000	1,555,000	1,691,000
単位 人		実績値	1,527,000	1,531,000				
		事業実施年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
		目標値	0	0	0	0	0	0
単位		実績値	0	0				

※のついた指標はまちづくり指標と同じ

■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額		
			平成28年度	平成29年度	平成30年度		
① 総事業費(a+b)			69,119千円	63,909千円			
人件費	a 事業費合計		57,123千円	52,569千円	55,381千円		
	正規職員	人数	2.03 人	1.94 人			
		b 金額	11,996千円	11,340千円			
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人			
		金額	0千円	0千円			
	人件費合計		11,996千円	11,340千円			
② 補助金等(収入)			5,600千円	1,490千円	1,000千円		
③ コスト(①-②)			63,519千円	62,419千円			
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			924 円	908 円			

■評価

評価項目	内容	評価結果	
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○
(2) 妥当性	中施策実現のための事務事業構成となっていますか	適当である	○
	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか（事業の役割が重複していないですか）	期待された役割を果たしている	○
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△ B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○ A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	名鉄バス、ひまわりバスともに利用者は増加しており、予算規模についても概ね適正であった。今後は、地域公共交通網形成計画の目標達成のため、ひまわりバスの路線再編を含めた公共交通の利用促進策を実施していく必要がある。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	地域公共交通網形成計画に基づき、ひまわりバスの路線再編や地域路線の導入に向けた様々な取組み、例えば路線やダイヤ、利用者増加のための利用促進策等、市民の意見やアイデアを把握するワークショップを実施する。		
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	<ul style="list-style-type: none"> ひまわりバス路線再編及び公共交通網形成計画に記載の利用促進事業を隨時実施する。 ひまわりバスでカバーできないエリアについては、地域のニーズにあった交通手段（予約型乗合交通等）を導入、運行する。 市域を超えた近隣市町をつなぐ公共交通について検討する。 		
今後、改善・拡大する事業	事業名 公共施設巡回バス事業	内容、理由、時期等 市民の生活に必要な出かけの足として、移動手段の確保と利便性の向上を図るため。	
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称) ・公共交通利用促進事業 ・地域路線事業	内容、理由、時期等 <ul style="list-style-type: none"> 路線再編により予測される一時的な利用者減を最小限に抑え、かつ、自動車利用から公共交通利用への転換を図るため。 地域路線を運営するため。 	
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等	
(昨年度の評価書を参照) 現年度に実施可能なとした内容の実施状況	地域公共交通網形成計画を策定した。また、地域路線の導入検討に際し、検討エリアにおいて移動ニーズを把握するためのワークショップを実施した。		
(昨年度の評価書を参照) 翌年度以降に実施可能とした内容の実施状況	地域公共交通網形成計画に基づく「公共交通の利用を誘導する事業」を隨時実施予定。		